

2024-2025 年度 国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ
国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック (米国ペンシルバニア州)



第 2824 例会

令和 7 年 1 月 22 日(水)

No. 0762

例会日 : 毎月第 2・第 4 水曜日

場 所 : 各務原市産業文化センター2階

住 所 : 各務原市那加桜町2-186

TEL <058>382-4649 FAX <058>382-4719

会 長 : 金武 峰之 幹 事 : 松久 茂彦

副会長 : 左高 洋 会 報 : 星川 俊輔

本日のプログラム ◎2025 年 2 月 26(水) 親睦交流例会

場所:信長 各務原店

次回例会の予告 ◎2025 年 3 月 12(水) 外部卓話

場所:産業文化センター4階 第3会議室

出席委員会 会員総数 37 名 2024.7.1 現在



～ 外部卓話例会 (羽島ロータリークラブ) ～

司会進行

堀尾 鎮章 副幹事

ただきました。非常に勉強になる所が多々ありましたので、次は是非 各務原にも、という事で今回の経緯に至りました。

会長挨拶

金武 峰之 会長

先ほど申し上げたように、各務原以外のロータリークラブに行かれた方もあると思いますが、自分達だけでは分からないしきたりや、各クラブの良い所や逆に、こういうところは各務原ロータリーの方がいいかな、等思ったりするところもあり、非常に勉強になるので、若い方や今後役を引き受けられるような方には、そういったところも是非勉強して頂きながらロータリーを学んで欲しいなと思います。

皆様改めましてこんばんは。本日もご参加いただきありがとうございます。今日は羽島ロータリークラブよりお客様がお見えになってますので、早々にご紹介させていただきます。

- ・安藤 賢治 会長エレクト
- ・平松 暁仁 副幹事 兼 R財団委員長

本日こうしてお2人がお見えになった経緯は、去年地区の研修セミナーの時に、僕と平松さんが同じテーブルになり、ご挨拶させてもらいながらグループワークという形式の中お話しさせていただき、普通は よろしくお願ひします というところで終わり、いつかまたね というような感じで終わるのですが、その次の日ぐらいに平野さんからお電話がありまして、是非羽島ロータリークラブへ来てください、とお誘いをいただきました。他のロータリークラブへお邪魔させて頂く機会は本当になかなか無い事で。僕も他のロータリークラブに行くと、各務原にない文化であったり、良さが学べるという事がありますので、是非宜しくお願ひします、という事で去年の 11 月に幹男さんと一緒に羽島ロータリークラブへ訪問させていただきました。美味しい料亭(西松亭)のお昼例会で、もう本当に美味しいお食事をいただきながら、例会をさせてい

最後に、平松さんの様な行動力と出会い、この2つが実は僕の2025年の個人的なテーマにもなっています。行動して沢山の方と出会う、という事を今後も続けていきたいと思っています。本日もよろしくお願ひいたします。



3分間スピーチ



小島 博彦 君

普段は、3分間スピーチ当たるかもしれない、と思って準備しているのですが、今日は全くノーマークで、今非常に困惑しているところです。非常に話したい話題はあるのですが、ちょっと

お話することがなかなか難しい内容なので、また最後の方でチラっとお話しさせていただきます。

私は最近、外を走るのではなく家の中で走る ZWIFT(ズイフト) という自転車にはまっています。

後ろのタイヤを外し、そのチェーンを機械にかけ、機械に負荷が掛かると坂道では重くなったり、逆に下り坂になると軽くなったり、というのをパソコン上の画面で操作しながら、世界にある色々なコースを走るというものです。これで走ると、世界中の色々な人たちと集団になって走る事が出来、たまたま隣を見たらウクライナの国旗の人だったり、たまに日本人と一緒に走っていたり、自分の知っている仲間が走っていたりすると、なんかいいね、や Facebook のいいね、とかメッセージが来たりして、世界中の仲間と家の中で自転車をこぎながら走る事が出来る、そういう事にはまっています。今この時期、外は非常に寒いですし、また雨が降っても快適に走れる、しかも YouTube とかネットフリックス見ながら、映画も見ながら汗をかけて健康になれる、という事で是非おすすめですので、サイクリングの入口に皆様ぜひ一度お試しいただければと思います。

最後に今、非常にタイムリーな話題という事ですが、次の日曜日から少しこの各務原市内を色々お騒がせする事になります。皆様是非この言葉に出来ない内容ですが、汲んでいただいて、何卒よろしく願いをいたします。本日は時間をいただきまして有難う御座いました。

私のお仕事 (第15回)



成松 祐輔 君

改めましてこんにちは。昨年からお世話になっております。ご存知の方も多いかもしれませんが、私の仕事は税理士をやっております。私は現在 40 代後半でもうすぐ 50 になりますが、税理士の中でも全体から

するとまだまだ若手の方です。皆さんと関わりのある税理士さんの年代層もあるかと思いますが、割と 60 代 70 代、中には 80 代でも現役の方がいらっしゃいます。ちょっと余談ですが、税理士の仲間内でゴルフの同好会というのがありまして、この間 夏に私 94 歳の人と一緒に回りました。もう一番前の T から打って、ほぼその人がドラコンを取ってしまうという状況で、もう次回からは止めよう、という事でその人がドラコンから外れる事になり対象外になってしまった、というそれぐらい年齢の幅広い職業であります。仕事の内容は皆さんご存知の通り、会計に関する帳簿作成のお手伝い、税務に関する申告書、税務でも法人税、消費税、所得税、相続税など多種多様な税金に関する申告書の作成、そして税務調査。税務署が税務調査に来る調査の立会いなど、これが一般的な税理士の仕事だと思えます。但し、やはり皆さんもご存知の通り世の中 AI が台頭してきている中、税理士という仕事もどんどんその活躍を AI に奪われてしまうのではないかとよく言われています。これは 5 年前 10 年前、本当にここ数年は色々な業界、業種から税理士の仕事に AI DX で取って代わろう、という動きが沢山あります。そんな中、私達税理士が、どういう事でお客さんに寄与するのか考えたときに、私は税理士と合わせてもう一つ取り組んでいる仕事の柱があり、それはお客様である経営者の方に対するコンサルティング、コーチングです。それは何かというと、基本、税務は税理士の仕事で、過去に起こった会計、お金に関することを処理する人、という側面が強いと思いますが、そうではなく経営者さんとこれからどういう状態を目指していくのか、そのためには何をやっていかなければいけないのか、経営者さんと社員さんが同じ方向性でやって

いくにはどうしたらよいのか、この様な事を経営者と寄り添って、伴走してお手伝いさせていただく事に入れています。これを『キャッシュフローコーチング』と言い、私の名刺にも認定資格になりますが、名称を入れております。

具体的にそのコーチングコンサルティングには、一つ言語化をすること。二つ目は数値化をすること。そして三つ目は映像化をすること。この三つのお手伝いをする事で、経営者がより前向きに経営に向かって進むことが出来ます。言語化とは何か。皆さんが経営されている会社や、自分の人生のビジョン、やらなければならないミッション、こういったものをはっきりと言葉で定義付けているかどうか。よく会社に経営理念があるのと同じ事です。しっかりそれが言葉になっていて、それを社員さん、経営者さんが一丸となって実践しようとしているかどうか、その言語化のお手伝いをさせていただくというのが一つ。

二つ目の数値化について。税理士ということもあって、皆さんの会社の数字を生で触れる事が出来る仕事です。なかなかこの数字について、腹落ちしていない経営者さんというのが非常に多いです。

この仕事をしていてよく聞かれるのが「先生今回、うち賞与っていくら出したらいいな」という事を、よく聞かれます。もちろんそれは会社の経営者さんが決める事ですが、中には私が言った数字をそのまま採用される方も見えます。出来れば会社の経営者さんには、そういった経営判断の数字の判断を出来る軸を持っていただきたいと思っております。より分かり易く、その数字を自分の会社の業績に応じて、自分の判断事項の数字として持っていただく、そういうお手伝いが二つ目です。最後三つ目は映像化ですが、これは数字に関わることで会社の決算や、自分の所得税の申告、会社の試算表など、細かい数字が沢山並んだ資料をご覧になった事があるかと思っております。しかしなかなか分かり難く、それを理解するためにある図を使い、今の会社の経営状態がどうなっているのか、このままいくと何ヶ月後の決算の時には、どれぐらいの数字になるとか、今のうちにどういう投資をしていこう、とか来期に向けてどの様な備えをしておこうか等の、経営判断が出来る様、分かり易くビジュアルで示せるようなそういった手法を用いて、経営者さんの経営判断にお役に立つ仕事をしております。これは税理士が過去の数字を見てやる仕事に比べたら、コーチングという仕事は将

来の数字を経営者さんと一緒に作っていく仕事なのかな、と思っております。今は税理士としての仕事と、コーチングの仕事は、大体6:4の割合で私の時間を割いていますが、将来的に税務の仕事はAI DXに任せて、このコンサルティングコーチングのお仕事を8割以上にしていきたいな、と思っております。それが私のAIに負けないビジネスパーソンになるための一つの方法かな、と思っております。

今日皆さんの中でも、経営に携わっていらっしゃる方が非常に多いかと思っております。私の仕事上皆さんのお役に立てることもあるかと思っておりますので、是非お金の回りのことについてご相談いただければ、何なりとご相談に乗らせていただきたく思っております。また引き続きよろしく願いいたします。ご清聴ありがとうございました。



委員会報告

皆出席報告

管理運営 竹田 克茂 委員長

山田 昭仁 君 18年

大野 広 君 10年



親睦ゴルフ表彰

1月28日(火)岐阜カンツリー倶楽部にて開催

1位：成松 祐輔 君

2位：松久 茂彦 君

3位：山田 昭仁 君



本日のプログラム 外部卓話

羽島ロータリークラブ

安藤 賢治 長エレクト



金武会長を始めとします。各務原ロータリークラブの皆様、本日は夜間例会に参加させていただき本当に

ありがとうございます。また昨年11月に小林 幹男 AG と金武会長には、羽島 RC に来ていただき有難うございます。

先ず私が羽島ロータリークラブに入会したのは、2016年 加藤会長と松田幹事の期に、加藤会長に誘われて入会しました。そして2019年に、松田会長に誘われ幹事をやることになりました。そして来期2025年、私にとって10年目ですがそのときに、今日一緒に来ている次期幹事の平松君と2人で頑張っていきたいと思っております。

実は加藤会長は、知ってみえる方もいるかと思いますが、むねちゃんラーメンの社長です。私が20歳頃、運転手をしている時からお世話になっています。

私が入会した頃のロータリーというのは、先輩方がすごい元気でイケイケの人が多かった時で、普通の例会時、入会して3年(最低3年)は30分前には必ず例会場に来るように、また例会欠席は基本なし。ただやむを得ない時はメイクを必ずする事を、常々言われていました。30分前に行かないと「今日は重役出勤だな」と先輩によくいじめられましたが、そういった中でも夜間例会など飲み会の席では、とてもいい先輩方でちょっとした話や、自分が本当に忘れかけていた事や言葉を、先輩たちが掛けてくれたり、相談ではありませんが常に例会の色々な話の中で、すごい言葉が隠れているんですね。自分の中で「そうだった」とか「そういうやり方があるな」など。そういう事があるので、やっぱり例会に出て良かったな、とロータリーに入っただけで感じた事だと思います。

昔は平均年齢70歳ぐらいでしたが、今は57歳ぐらいと最近では若い会員の方が増え、人数も3分の2ぐらいになり、一気に若い子たちが入会してきたのでこれま

BOX 報告 R 財団委員 小島 博彦 副委員長

・金武 峰之 会長 皆さんこんばんは。安藤さん、平松さん、ようこそ各務原ロータリークラブへ。

・松久 茂彦 幹事 安藤さん、平松さん、ようこそお越しくございました。

・堀尾 鎮章 副幹事 皆さんこんばんは。今日も宜しくお願いします。

・野村 公人 会長エレクト 羽島 RC 安藤さん、平松さん、ようこそ宜しくお願いします。

・横山 隆一郎 君 羽島 RC の皆さん、ようこそ各務原へ。

・平井 正晴 君 羽島 RC の皆様、本日は宜しくお願いします。

・可児 昌則 君 羽島 RC 安藤様、平松様、本日は宜しくお願いします。

・山田 昭仁 君 羽島 RC 安藤会長エレクト、平松 R 財団委員長、ようこそ各務原 RC へ。

・竹田 克茂 君 羽島 RC 安藤様、平松様、ようこそお越しくございました。

・大野 広 君 迎えに行ったらルイス君、未だ帰宅して居ませんでした。

・松井 雅史 君 先日の「クエと日本酒を愉しむ会」に参加の皆様、有難う御座いました。お陰様で盛大に開催する事が出来ました。

・成松 祐輔 君 本日は宜しくお願いします。

・小島 博彦 君 本日は宜しくお願いします。

での均衡が崩れ、大先輩の良い所がだんだん削られてしまいました。飲み会にしても何にしても、どうしても若い子だけで塊が出来てしまい、先輩が声を掛けようにも掛けづらいといった辺りで、先輩も苦労しているみたいです。そういう光景を私達中間が見るに見兼ねて、後輩たちと飲み会をやったりしていますが、その中でもやはり若い子たちの言う事も分かる部分もありますので、難しいところです。

ただどうしてもロータリーという軸を持った伝統あるロータリーに入っているのです、そこに関してロータリーの精神とロータリーの伝統を表にかざした上での“若手”というか“若返り”でもあります。リモートに関してコロナによって、リモート化が出て来ましたが、最初は先輩たちが反対していました。しかし正直メイクアップするにしても、メイクの会場の数や、日数がだんだん少なくなってきましたので、そういうことも含め先輩たちと話をし、ようやく「リモートOKするよ」ということで、何とか去年認証していただき今年から取り入れている状況です。

若い人たちが全部いいとも言えないですし、ただ入っただけの子達に、あまり表だけの事でかき回されるのもちょっと駄目なので、来期は私と平松君でその辺りをきちんと精査ではないですが、お互い寄り添えるような、先輩たちと若い子達と一緒に頑張っていけるようなロータリー活動をしていきたいと思えます。結びにはなりますが、これからも今日の日をきっかけとして各務原ロータリーと羽島ロータリーの交流が更に深まる事を願いまして、私の挨拶と代えさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

羽島ロータリークラブ

平松 暁仁 副幹事 兼 R財団委員長



す。よろしくお願ひします。

ロータリークラブといえば、奉仕のクラブだと私は思っています。羽島クラブがやっている奉仕活動を五つ持ってきましたのでご紹介させていただきます。

先ず7月に新年度が始まりますので、7月の第1例会には、羽島新幹線駅で清掃活動を、私達羽島ロータリークラブ全員で行います。

私の判断ですが、羽島新幹線といえば多くの利用者がお見えです。大勢の前で清掃活動をしているということで、『世界に良いことをしよう』というR財団の掲げている言葉とも捉えられますが、大勢の前で活動をする事により、活動内容を広げる“広報”の方が強いのではないかと思いますので、これは清掃活動というよりは、広報奉仕かなとロータリーに対して思っております。二つ目ですが、次に私達のクラブであるインターアクトクラブ羽島北高校とともに、先ほどの清掃活動やポリオ募金活動を行い、学生たちにロータリークラブの心を知ってもらいます。そして学んだことをインターネットや、友達の輪を広げるなど、若いエネルギーで拡散してもらいます。そしてその子たちが社会に出た際には、ロータリークラブに戻ってくる（入会する）、奉仕の心、精神を社会にて実践していくというような流れを作っております。これが私達の行う青少年育成方針ではないかなと思っております。

三つ目、次年度私と安藤会長が企画しておりますのが、R財団補助金を使い、ある障害者施設にて防災講座を行います。防災講座といいますが、簡単に聞こえるかもしれませんが、9月の記憶に新しい石川の能登半島地震で被災された旅館加賀屋の総支配人さんが被災されたにもかかわらず自身の仲間とスタッフを集めて、救助活動をされている事に触れます。被災されている方が、現地で救助活動しているんです。

現在その総支配人の方が色々な所で卓話をしているので、お呼びして卓話を予定しております。そして当時の状況や災害時の人々の行動、心にもない動きをする行動について、災害に遭ってみたいと知らないことなど講演いただきます。またAEDの操作の方法や、災害用テントの張り方、障害者施設にプレゼントしようかと思っています。

最も、障害者施設の方にプレゼントしたいと思った理由は、障害者施設なので自分自身だけが逃げる事が出来ない。入居者（障害者）の方を連れて避難しなければいけない、という事は心がよほど強くないと出来ない事だと思ひます。

自分を犠牲にしながら、そして入居者を守りながら避難する、ということで『メンタルトレーニング』のような、日頃から心を鍛えるという事を考えております。このR財団補助金で、私達の行う社会奉仕と考えております。

四つ目、国際奉仕として私達も多くのお金をポリオ募金として寄付しております。そして今年よりクラブカードを取得しました。クラブカードというのは、クレジットカードとなっており、クラブ事業（例えば親睦ゴルフ会など）のお支払いをそのクラブのカードを使用させていただくと、0.03%がR財団へ渡りポリオの資金になるという、流れです。

五つ目、私は五つ目の奉仕活動として『四つのテスト』が奉仕活動ではないかと思っています。

四つのテストとは、皆様のように影響力のある方自らが、自身の原稿に照らして会社経営をしていただくことが本当の職業奉仕であります。皆様より社内で教育を受けたスタッフ、社員が営業先でその言葉を広げ、語る。家に帰り、妻子供に伝えていくといった深い奉仕活動だと思っています。

しかし私のクラブにはユニークな先輩が見えて、四つのテストですが五つのテストだと言い張ります。

現行はこれに照らしてから

- ・一つ 真実かどうかははいしません
- ・一つ みんなに公平か
- ・一つ 好意と友情を深めるか
- 一つ みんなのためになるか どうか

私の先輩はこう言います。

五つ目、自分のためになるか

ご清聴ありがとうございました。

ただいたかなと思います。

本日はどうもありがとうございました。

お礼の挨拶

金武 峰之 会長

改めまして 本日は羽島ロータリークラブの安藤さん、平松さんの素敵なお話と、安藤さんのご経歴等、来季への覚悟、そして活動の自信についてお話しいただきました。各務原の歴史プラス羽島の歴史。また引き続き交流いただければと思いますので、宜しく願いいたします。

平松さんは、キャラクターが相変わらず素晴らしく、実行をされる平松さんが大好きで、セミナーの当日も本当にもう取り込まれての、翌日の電話で今日があると。本真正に行動と出会いの素晴らしさを体感させてい